

千客万来

(第十九号)

ごあいさつ

春の足音が、近くなったり遠くなったりしておりますが、陽射しは急に明るくなり始めました。

皆様にはいかがお過ごしでしょうか？ 昨年は災いの多い年でした。今年こそ、皆様にとりまして、幸多い一年でありますようにと願ってやみません。

年賀状を頂きながら、きちんとお返事が出来ないままで、大変失礼しており、いつもの事ながら申し訳ございません。お許し下さいませ。私達も、皆様に負けないように、今年も美味しいぶどうを作ろうと、また新たな決意で努力をしております。

どうぞ本年もよろしくお願い申し上げます。

昨年の反省と今年の課題

昨年は、後半数回の台風に見舞われ、スタッフ一同の懸命の努力もむなしく、今ひとつ不満の残る年になりました。ハウスはもとより、他の施設も被害を全て避けることはできませんでした。天災とはいえ、責任逃れは出来ません。貴重な体験をしたと受け止め、これを越える力を身につけていく事が永遠の課題です。

被害ハウスの修復・ブドウに適した土作り・樹相診断力の向上・枝葉や果実管理・病害虫防除技術等の一層の向上も計りたいと思います。

皆様のお便りから（対応がすぐに出来ずお許し下さい。）

A 東京都練馬区 小林様

『いつも有難うございます。とても甘かったのですが、桃太郎の



歯ごたえがあまりなかったのが残念です。』

『ご免なさい！一部台風直後に、排水不良の状態になった園の樹から、収穫した房だったでしょうか？』

B 岸和田市 坂口様（トマト農園 蜜蜂交配完全無農薬栽培）

『桃太郎の小さい粒に少々傷みがあったと聞きました。大きい房は好評でした。』

『済みません！以後よく気をつけます。言い訳になりますが、粒の大小は、樹齢や樹勢によっても差が出る事があります。粒間引きの作業で、均一になるよう良く気を付けたいと思います。』

C 東京都杉並区 小林様

『先様が留守の時に配達され4〜5日運送会社に留め置かれました。何か良い方法はありませんか？』

『宅配契約をしている「やまと運輸」では、受け付けた荷物が、相手に受け取られたかどうか、配送中・配達済み・再配達など分かるようになっております。万一、ご不在で再配達が二日になると、発送者にご処理すればいいかと電話をしてくれそうです。』

『その場合、送り主様にお尋ねしていただくようにしているのでありますが・・・。本当にご迷惑をおかけしました。よく気をつけて事後処理いたします。どうぞお許し下さい！』

『出荷時、相手先に全て在宅の確認をするのは出来ないの、長期不在・緊急事態などの場合は、ご一報いただくと助かります。複数の方々から』

『瀬戸ジャイアンツ』と『桃太郎ぶどう』の関係は？

『正しい品種名は『瀬戸ジャイアンツ』で、種苗登録法に基づいて私が登録した名前です。『桃太郎ぶどう』は商標登録名です。果粒の形が桃に似た感じで、美味しいし皮のまま食べられるし種なしにも出来る事から、岡山県の特産品として育てようと生産組合を結成。当時の代表者が商標を取得。生産技術などを、』

組合員は必死で勉強をして、現在のよ様な品質のいい『桃太郎ぶどう』を出荷出来るまでになりました。余りにも美味しいし食べやすいので、消費者の人気が出て、最近では作る人も増えていきます。ただ、売りたいだけのために組合に入りたいという考えの方もおられ、色々難しい問題があります。現在は名前が統一できておりません。ですから、組合員でない方は『瀬戸ジャイアンツ』で出荷しています。どちらも同じものです。

収穫後の管理日誌から

十月二十七・二十八日 堆肥施用 4トン×4車

収穫後のお礼肥に大量の堆肥を入れました。園地のぶどうの根元を中心に、一株当たり約一五〇～二〇〇kgを、手押し一輪車で運搬して、土の全面に施用し耕しました。

十二月十二日 強制落葉

暖冬で、自然落葉期がハウスでは十二月となります。短日で光線も弱く、老化した葉がいつまでも落葉しないと、貯蔵養分の消耗で、春の発育が遅れます。そのため、皆で葉を摘み落とし、病虫害駆除も兼ねて焼却しました。

一月二日～二月十三日 整枝・剪定

新年早々、ぶどう畑で、どのような樹形に育てるか「じつと観察。その楽しい事！自由型整枝は、個々の品種の習性に合わせて剪定をするため、長期間かかりました。切り落としした枝は、破砕機で堆肥材料にしました。綺麗な枝を使って、何か作れたらいいのですが……。

十月下旬～二月

第二農場の未使用地、約四アールの土地改良に続き、廃材を生かして、ぶどう棚の架設・植え付け準備をしました。目下

ようやく棚張りを終えました。(二月六日)

ここは、育種用品種の保存と試作に使う予定です。

早速、『瀬戸ジャイアンツ』を母とする、実生苗四十五本を、植えました。

自宅前にある原種も、これから掘りあげて移植し、保存しようと考えています。また、その他の実生の樹も移植して、生育調査を継続する予定です。成木の芽が出るまでにしないとイケないので、忙しくなります。

これからの予定

二月十六日 一号ハウス内側のフィルムを展張して二重にし、保温を開始しました。

二月末日までに 1号ハウス・3号ハウスの雨よけフィルムの展張(台風で破損した箇所)をします。

三月末までに、発芽前病虫害防除のため、粗皮除去・害虫捕殺第1回薬剤散布(ベンレート200倍)

桜便りの届く頃から新しい枝葉が伸び始め、梅雨明けごろ、今年の出来具合が予測可能となります。その間の管理と天候が、成否を左右します。

七月、おおむね今年の作柄、収穫予想が立ちますので、注文書などご案内を含めて、次号『千客万来』をお届けします。

苗木の生産販売

「瀬戸ジャイアンツ」・「ハイベリー」・「涼玉」・「ブラック三尺」・「マスカットデュークアモーレ」など、私達の育成したブドウの苗木を増産しています。毎年苗木が不足して、ご迷惑をおかけし

ていますが、今年は思いつきり増産しています。
一般家庭の僅かな庭でも栽培可能な『栽培の手引き書』と、セツトで販売をしてはと考えています。ご期待下さい。

トピックス

見学者多数ご来園

九州・四国・関西・中国地区など、各地から、個人・グループ・JANAなどの団体等、栽培農家と指導者などが視察に見えました。

『これからの品種選択』、『高品質にするための生産技術』について、質問を受けました。

素人の方も、趣味で作りたい方が増えています。数年後には、皆さんの身近な地区でも、花澤系ぶどうが生産されるようになると思います。

『全国ぶどう懇談会』岡山大会会場に！

平成十六年八月二十七・二十八日 我が家を会場に実施されました。全国各地から約百名が参集。

ブドウ栽培が何よりも好きというマニアが、夢を語り合いました。珍しいぶどう・美味しいぶどう・見事なぶどうを見ながら・・・。
どの地方にも、立派な仲間が沢山居られ、心強く感じました。それぞれに持ち寄られた力作ぞろいのブドウにも話題は尽きず、宿泊所となった岡山市『泉水』旅館では、夜が更けるのも忘れて会が盛り上がったそうです。

長船町の高原農園・御津町の山田農園も見学させていただき、素晴らしいぶどうを見学。岡山大会は成巧裏に終了しました。

一日体験学習

昨年、初めてご案内をしました。申込者七名。

台風で、当日実施出来ない状態となり中止。ただお一人、お仕事の関係で連絡がとれなかった方が、風雨の中ご来園。実習をして帰られました。みなさん、関心はあるけれども遠いので・・・と、残念がって、お電話やお便りをいただきました。

最近の農産物に関する偽証の問題。私の経験だけでは、不可能と思われる表示や数量・・・。疑問を感じています。

実際に、農作業の体験をしていただくと、現場の苦心を理解していただけて、情報を的確にお分かりいただけるものと思います。
今年も計画をいたします。ご参加をお待ちしています。

第二農場で試食会開催（江尻西地区）

少しずつ大きくなっているぶどうの樹も、三年目となり、成木に負けないほどの、大きくて美味しいブドウが、少しばかりなりました。

土地の購入から借地の手続き、さらに園地造成、ハウス建設・・・と、その間、周囲の皆さんには、大変な協力をいただきました。そのお礼と、ご迷惑をおかけして来たお詫びとを兼ねて、地区の方々を試食会にご案内しました。早朝にもかかわらず、お出で下さって、楽しく語らう時間がもてました。

その中に横山清行さんが居られ、コンピュータ関係のお仕事を、当地に戻って来てされていると伺いました。

試食会がご縁で、「花澤ぶどう研究所」のIT化が進み、HPも完成しました。大変有難い事です。



江尻地区のみなさんと！

江西小四年生総合学習に

一回目が、ブドウの花の咲く時期に始まった学習は、粒を間引き、袋掛けの時期に二回目を。そして、三回目が十月初め『マスカットデュークアモーレ』の収穫です。グループ毎に、願いを書いた袋を掛け、その房を収穫しました。傷んだ房がなくてよかったです。

この日、給食の時間に、皆で味わったそうですが、児童からいただいたお礼の手紙には『美味しかった』と、全員が書いてくれました。

枝葉の掃除や堆肥を入れることなど、少し汗を流すところまで、指導をするべきではなかったかと反省しています。



先生鋏を貸してください！



僕が摘んだアモーレだよ！

研究活動

1 新品種育成

昨年初めて実がなった『瀬戸ジャイアンツ』を母とする実生調査を、九月二十二日に実施。一年めでは、親を超えるような能力を持つ個体は、現れませんでした。ただ、希望の持てる個体が、いくつ

かありましたので、移植して数年間調査をする予定です。皮ごと食べられる「赤い色の桃太郎ぶどう」を作りたいことを夢見て、今年も交配をします。

選抜中の赤色5系統と、黒色3系統の選抜継続調査をし、登録準備を進めます。

2 美味しいぶどう作りの研究

光合成能力を高める工夫と、生産された炭水化物を、果実に十分蓄えさせる工夫について、さらに、摘心の方法と灌水の方法の研究を続けます。

終わりに

お便りを『手書き』で・・・とずっと思い続けてきました。

『こんな時代だから手書きが一番ですよ！』と横山さん。

『手書きをせなんだんか？』と主人。

『お母さんの字がいいですよ絶対！』と恵子達。

言われても言われても、やはり、横着を決め込んでしまいました。

ただ、七十歳を期に、また新しい事に挑戦する意欲が湧いて来て、とても楽しくPCに向かい、この号を完成させる事が出来ました。次回までには、また何か一つ教えていただき、覚えようと思っております。

ご指導くださいました横山さん、SOSを受けてくれた恵子さん本当に有難うございました。七月に次号をお届けします。

開設されたHP (<http://www.setogiants.com>)へ是非訪問下さい。

皆様方のご多幸と

ご健康をお祈りしつつ！

(二〇〇五・三・九 花澤睦子記)